

# すわみつえ通信

No.321 2024年7月1日

日本共産党鴻巣市議会議員  
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

## 鴻巣市議会 6月定例会閉会す

6月4日から6月24日までの会期で開催された6月定例会が閉会となりました。執行部議案15件、市民の請願1件、議員提案意見書1件を審議し、日本共産党議員団は15件に賛成をし、2件に反対をしました。

### 市民の請願書・1358名の賛同署名

### 「いじめ重大事態についての再調査を求める請願書」否決となる

市民の請願権による、「いじめ重大事態の再調査を求める請願書」の要旨は、「2019年に鴻巣市内の中学校で発生したいじめ重大事態について、鴻巣市教育委員会は『いじめ問題調査委員会』を設置し調査を行ったが、調査方法、調査体制、調査内容および報告書の取扱いに多数の不備ならびに文部科学省のガイドライン・本市の例規違反が認められた。そのため鴻巣市による再調査と調査報告書の再作成、ならびに調査報告書をいじめ被害者の意向に沿って公開することを求める。」というものです。

6月24日(月) 議会最終日・本会議において  
賛成: 竹田えつ子・すわみつえ・西尾綾子議員の3名  
反対: 19名 棄権: 1名

反対討論は中西耕二郎議員のみ

「安易に再調査を行うことで、いじめ問題調査委員会の信頼性が損なわれる危険性がある。」「2年あまりかけて係争中であり、再調査は子どもたちに精神的負担を与える」と反対討論がありました。

文科省ガイドラインに沿わない(被害者に意向確認行わない)、また、鴻巣市の例規集に違反する(議事録を破棄)などがあり、調査報告書そのものの信頼性が損なわれているために、再調査を求める請願書ですが反対討論は他になく鴻巣市議会は否決しました。

### 日本共産党提出の意見書「金権腐敗政治根絶のため、企業・団体献金の全面禁止を求める意見書」否決される

自民党の裏金疑惑で始まった通常国会は、6月19日の参議院本会議で、公明党と日本維新の会との合意によって修正された自民党の政治資金規正法改定案が、自民党と公明党などの賛成多数で可決、成立し閉会しました。

鴻巣市議会として「金権腐敗政治をなくすため、企業・団体献金の全面禁止を求める意見書」を国に提出するよう求めました。意見書案に対して、議員からの質疑は1件もなく、また反対討論も全くないなかで、賛成討論を西尾綾子・すわみつえ議員が行い採決となりました。日本共産党・社民党の3名が賛成、他は無言のまま反対で否決しました。

今国会で成立した「政治資金規正法改正」は国民の80%が「政治とカネ」に「効果がない」という世論調査結果を、反対議員はどう受け止めているのか不明です。

#### 【市政懇談会のご案内】

7月27日(土) 14時~17時 中央公民館・会議室(分室)で竹田えつ子・すわみつえ市議が6月議会のお話をします

#### 【俳句コーナー】

初夏や胡瓜糠漬けパリパリと

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

# 出力抑制改め再エネ優先を 市民団体 オンライン署名開始

**政府は、大量の太陽光・風力の電力を無駄にし、莫大な損失と  
電力料金アップ、CO2排出量増加をもたらす出力制御方式を改めよ！**

激増する再生可能エネルギーの出力抑制に対し「自然エネルギー市民の会」は、現行のルールを改め、再エネ発電を最優先にする仕組みなどを政府に求めるオンライン署名（QRコード）を始めました。



経済産業省が定めている「優先給電ルール」に基づいて電力大手は、電力需要が少ない時に、原発を優先供給し、石炭火力発電や天然ガス火力発電を一定出力まで制御した上で、太陽光発電や風力発電の出力抑制を無制限・無補償で行っています。近年、再エネの出力抑制量が急増。市民の会の署名趣旨によると、昨年の出力抑制量は19・2億キロワット時で、約45・1万世帯の年間消費量に相当し、家庭の平均電気料金に換算すると595億円分に相当するとしています。さらに2024年度は24・2億キロワット時で、同750億円分に増加する見込みだといいます。



東電福島第一原発事故後に福島復興を願う市民と地域再生にける福島農家の方々と協力して作った市民共同発電所(自然エネルギー市民の会から)

再エネの出力抑制について市民の会は、発電に必要な燃料代がほぼゼロで発電できるのに無駄にしていることになり、社会的に大きな損失をもたらすとともに、電気料金の高騰につながっていると指摘。さらに温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を増加させ、気候危機を増幅させるとしています。市民の会は、諸外国で再エネ電力が原発や火力発電よりも優先供給されているとして、そうするなら二酸化炭素の排出量も削減でき、電気料金の引き下げ、エネルギーの安全保障につながると強調しています。

(しんぶん赤旗 6月28日付)

## <金口木舌> 迷惑なアメリカ・ファースト

11月の米大統領選で再選を目指すトランプ氏。今回も「アメリカ・ファースト」を掲げるのだろうが、よその国はどうでもいいという自国第一主義は困る

▼例えば2020年のパリ協定の離脱。地球温暖化対策の国際枠組みだが「コストが高くつく」との理屈で離脱した。政権交代で復帰したが、独りよがりな振る舞いは考えもの▼有機フッ素化合物PFAS問題も気になる。東京都の多摩地域の水道水源の井戸で高濃度PFASが検出されており、米軍横田基地が汚染源として疑われている。米軍は現在、井戸水と都水道局の水道水を併用している▼自国第一主義がここに顔を出す。米軍は水道水への全面切り替えを検討していると東京新聞が報じた。水道水に切り替えれば米軍は汚染源を特定せず、除染もせずに済む▼専ら水道水を使う在沖米軍も同類だ。県が求める立ち入り調査を拒む一方で、PFAS濃度の低減処理を県に任せる。沖縄にはびこる「アメリカ・ファースト」はほかにもあり、戦後一貫して続いてきた。そろそろ終わりにしてはどうか。

(琉球新報 6月13日付)

## 党創立102周年

## 総選挙・参院選勝利

希望ある日本を語るつどい

日時 7月15日(月・祝)

13時半開場 14時開会

会場 上尾文化センター101



衆院埼玉6区  
予定候補

秋山 もえ



参議院議員  
(埼玉選出)

伊藤 岳

私たちがお話しします

主催／日本共産党埼玉中部地区委員会